

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	機械学習を用いた新生児出生体重推定モデルの開発および多施設外部検証			
実施予定期間	研究実施許可日　～　（西暦）2028年12月31日			
実施診療科	産婦人科			
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日		2026年8月5日	
	研究実施承認日		2026年8月6日	
対象となる方	対象期間内に、けいゆう病院産婦人科において、妊娠分娩管理を行った方			
対象期間	（西暦）2006年1月1日～（西暦）2026年6月30日			
主たる研究実施機関	一般財団法人神奈川県警友会　けいゆう病院			
共同研究機関	【研究組織】参照			
当院の研究責任者	所　属	産婦人科	氏　名	長谷川　慶太
研究の意義	産婦人科診療で行う超音波による胎児推定体重の算出は約10%の誤差があると言われており、特に2500g未満の低出生体重児や3500g以上の巨大児において誤差が大きくなりやすいです。 本研究により新生児の身体計測情報、母体・妊娠経過の情報と出生体重との関連を機械学習モデル（コンピュータが膨大なデータから特徴や規則性を学習し、予測や判定を行うプログラム）により解析し、出生体重を規定する因子の関係性が明らかになれば、将来的に胎児超音波計測へ応用し、高精度な胎児推定体重モデルの開発につながる基盤となることが期待されます。			
研究の目的	新生児の身体計測情報および周産期データを用いて出生体重を推定する機械学習モデルを開発し、その性能を評価することです。			
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情			

	報を入力値として出生体重を推定する機械学習モデルを作成、評価します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を匿名化した上で使用します。(年齢、母体の身長、体重、BMI、妊娠回数、経産回数、不妊治療歴、既往歴、妊娠週数、妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病・胎児発育不全・胎児構造異常の有無、分娩年度、分娩週数、分娩様式、児性別、胎位、出生体重、新生児の身長、頭囲、胸囲、構造異常の有無等)
診療情報等の他機関への提供方法	データは匿名化したうえで研究実施機関において解析等を行います。
結果の公表	本研究結果は関連学会や学術論文等で発表予定です。開発した機械学習モデルや解析プログラム等は公開リポジトリ等（研究データやプログラムが保管されており、世界中の研究者が利用できるインターネット上のデータベース）で公開する場合があります。また、解析結果を可視化するためにStreamlit等のアプリケーションを作成する場合があります。いずれも個人を特定できる情報として公表されることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除して番号（匿名化）を付けた上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途臨床研究審査委員会の審査を受け、院長の許可を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181（代表） 内線2107 産婦人科 長谷川 慶太

【研究組織】

1 研究代表者

一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 産婦人科 医員 長谷川慶太

2 共同研究者、研究実施施設

所属	責任者
慶應義塾大学病院	春日 義史
独立行政法人国立病院機構埼玉病院	田中 雄也
さいたま市立病院	玉井 順子